

# かあら版

## 唐津街道姪浜まちづくり協議会

平成二十五年十月三十一日  
発行元

### 唐津街道姪浜まちづくり協議会 唐津街道姪浜景観づくり委員会

◆事務局：福岡市西区姪の浜三丁目三三七マイルズ味噌内  
※この号外は、福岡県共助社会づくり基金からの助成金を活用して発行しております。

# 喜びのダブル受賞



川岡会長

「唐津街道姪浜まちづくり協議会」会長の川岡です。10月6日は、当協議会にとって記念すべき一日となりました。当協議会は、NPO法人日本都市計画家協会が主催する「第10回日本都市計画家協会賞」の最高部門である「日本まちづくり大賞」及び、福岡県が主催する「ふくおか共助社会づくり表彰」の「協働部門賞」を受賞いたしました。新潟県長岡市と福岡市で、同日での嬉しいダブル受賞となりました。

# 日本都市計画家協会賞「日本まちづくり大賞」

日本都市計画家協会賞は、全国の都市や地域で実践されている様々な分野やテーマの「草の根まちづくり活動」を応援し、優れた理念や活動を全国に発信・波及することを目的に、2003年にスタートしたものです。前回までに80団体が受賞しています。大賞は各賞（優秀まちづくり賞、全国まちづくり会議特別賞、支部賞等）に選考された団体が公開プレゼンテーションを行い、会場参加者による投票を参考にして、最終審査会を経て選ばれることとなっています。



唐津街道姪浜まちづくり協議会  
大塚事務局長による大賞受賞スピーチ

当協議会は、まず福岡支部賞を受賞し、全国から選ばれた7つの団体とともに、長岡市で開催された「全国まちづくり会議2013 in 長岡」の中で、10月5日に公開プレゼンテーションを行い、翌6日の最終審査会を経て大賞を受賞したものです。

市民の宝に！歴史的環境を活かした地域協働の町並み形成と地域づくり推進活動」で、姪浜ならではのまちづくり資源（歴史、物語、町並み、海、食など）を活かした、これまでの7年間の地道な取り組みを



大塚事務局長による大賞受賞スピーチ

福岡市の代表としてしっかりPRして頂きました。大塚事務局長の素晴らしいプレゼンテーションが快挙につながったと言えるでしょう。当協議会は、一つひとつの活動はオーソドックス

ながらも、多彩で地道に着実に、そして真摯な姿勢で取り組んでいることが高く評価されたとのこと。また、唐津街道沿いの町並みの外観を向上させようとするにとどまらず、姪浜のまち全体を視野に入れて、歴史や物語などをはじめとした地域資源を活かして、まちの個性の再構築（エリア・コンバージョン）につなげようとしているのだという評価をいただきました。

今回の受賞は、まちづくりの専門家に評価していただいたものであり、姪浜だけでなく福岡市にとっても誇りであり、福岡市民に誇れる賞だと考えております。



## プレゼンテーションを行った 大塚事務局長のコメント

各団体に与えられたプレゼン時間は8分。私は7番目にプレゼンすることになりました。先にプレゼンを行った6団体を参考に、メリハリをつけながら、流れるようなわかりやすい説明を心がけました。福岡を出発する前に市役所の先輩から「歴史的な町並みや建造物が次第に失われつつある150万都市・福岡の一地域の地道な取り組みを、自信を持ってアピールして来たらいい。」というアドバイスを受けて、まさしくそれを実行しました。

「姪浜の地理的位置と歴史」「協議会の活動エリア」「活動のきっかけ」を話した後、「多彩な活動内容」を説明し、最後は「活動の成果」「今後の活動予定」で締めくくりました。自分としても大変納得のいくプレゼンであり、協議会活動や市役所の出前講座等で場数を踏んだ成果が出たと思っております。申請資料は限られた枚数での表現であり、他の団体に比べ、ややアピール力に欠けた感じを持っていましたが、姪浜への熱い想いを込めたプレゼンで逆転といったところでしょうか。

今回の受賞を励みとして、今後も『姪浜の宝を福岡市民の宝に！』を目標に、粘り強く、楽しく、そして次の世代に引き継いでいけるように活動を進めていきたいと考えています。また今回プレゼンを行った他の7団体も、様々な課題のある地域を何とか元気にしたいと取り組んでおり、今回の出会いをきっかけに交流を始めていきたいと考えています。



# ふくおか共助社会づくり表彰「協働部門賞」

ふくおか共助社会づくり表彰は、8月31日の表彰式が台風の影響で延期されていたもので、10月6日に表彰式がありました。

この賞は、新たな共助社会の実現に向け、NPO・ボランティアと企業、その他団体、行政との優れた協働の取り組みを表彰するものです。



平成25年度 ふくおか共助社会づくり表彰式 平成25年10月6日(日) 於 福岡県吉塚合同庁舎



川岡会長(右)と菊地教授(左)

**活動概要と受賞理由**

都市化の進展や平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震により、地域の特徴である町家が次第に減少する中で、「歴史的な環境を活かした景観づくりの推進と姪浜ブランドの構築」を目標に、地域資源の保全・活用に向けた意識醸成とその実践を図る取り組み。協議会に参加している地域内外の人々の多様なノウハウ・スキルを活用し、地域資源の調査と情報発信、ワークショップの企画運営、まちづくり計画策定、町家再生などの様々な取り組みを行っており、学生が若い視点を活かし、地域資源の調査やまちづくりワークショップの運営に協力。

これらにより、町並みの保存に向けた地域住民の機運醸成が図られたことで、将来的な景観づくり、まちづくりまで見据えた息の長い取り組みとして定着し、更なる発展が期待される。

(9月30日発行「かわら版第6号」で報告済み)。



当協議会は九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門「菊地研究室」との協働による「町並み保全と地域づくり」の取り組みが高く評価されたものです。

## 『姪浜の宝を福岡市民の宝に!』の実現に向けて

当協議会は、今までに「福岡市都市景観賞」「ふくおか地域づくり活動賞」を受賞しています。今回、応募のきっかけとなったのは、一部の地域を除き、全国どこに行っても同じような景観形成が進む中で、一地域の地道な取り組みを通して、それぞれの地域にある歴史や文化、物語等を掘り起こし、個性ある地域づくりの一助になればという想いからです。

姪浜には、古い町並みが面的に残っているわけではありませんが、歴史、物語、町並み、海、食などの様々な魅力資源があります。町並みだけ見ると、いつの間にか通り過ぎてしまいがちですが、じっくりと歩いて見ると、まさに「宝のまち・姪浜」を実感することができます。こうした身近な資源をしっかりと評価し、まちづくりに活かし、後世に引き継いでいくことが重要です。

我々の活動そのものは、全国的にも評価されたということですが、今後は町並みとして目に見える形で成果を出していかなければなりません。そのためには、地域の住民や関係団体の皆さまの今まで以上の「姪浜への想い」と、それを実現するための熱意と実行力が不可欠でございます。どうか、宝の消失や持ち腐れにならないよう『姪浜の宝を福岡市民の宝に!』を目標に、共に知恵を出し、汗を流していきましょう。